

Table with columns for pesticide types (殺菌剤) and target organisms (天敵等). Rows list various pesticides like アミスター, アフェット, アリエッティ, etc., with columns for different life stages (卵, 成虫, etc.) and impact indicators (◎, ○, △, ×).

注) 卵: 卵に、幼: 幼虫に、成: 成虫に、マ: マミに、蛹: 蛹に、胞子: 胞子に、巢: 巣箱の蜂のコロニーに対する影響
残: その農薬が天敵に対して影響のなくなるまでの期間で単位は日数です。数字の横に!があるものはその日数以上の影響がある農薬です。
\*は薬液乾燥後に天敵を導入する場合には影響がないが、天敵が存在する場合には影響がでる恐れがあります。
記号: 天敵等に対する影響は◎: 死亡率0~25%、○: 25~50%、△: 50~75%、×: 75~100%(野外・半野外試験)、◎: 死亡率0~30%、○: 30~80%、△: 80~99%、×: 99~100%(室内試験)

・表中のエルビニアカボホーは乳剤との混用はできませんが、3日以上散布期間であれば近接散布が可能です。またパルススフチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能です。
・表中の影響の程度及び残効期間はあくまでも目安であり、気象条件(温度、降雨、紫外線の程度及び換気条件等)により変化します。
上記の理由により、この表が原因で事故が発生しても、当協議会としては一切責任を負いかねますのでご了承の上、ご使用下さい。
この表はエクセルver7で作成していますので、パソコンで参照する場合にはver7以上で使用して下さい。セルにカンソルを近づけると出典が表示されます。表示のない場合はIOBCおよびPCSの資料です。
<<除草剤>> (バイオセーフと混用可能な除草剤は下記のとおり)
クサブロッカ、スタッカー、バナフィン、カブ、クサレス、ターザイン、ウエイアップ、ディクトラン